

質 疑 応 答 書

工事件名 : 石積埋立処分場浸出水処理施設建設工事 (第2期整備第1区画)

整理番号 150510085

質 問 事 項	回 答
<p>1 施工条件明示書 1/3 1. 工程関係 「場内整備工事と調整が必要」と記載がありませんが、場内整備工事の契約工期をご教授ください。また、計画工程表がありましたら、ご支給ください。</p>	<p>場内整備工事は、本工事と同工期と考えています。 工程表は提示できません。</p>
<p>2 施工条件明示書 1/3 5. 建設副産物対策関係 有筋コンクリート、無筋コンクリート、アスファルト塊を本処分場の覆土として利用する場合、寸法制限等がありますでしょうか</p>	<p>5月11日付で「本処分場の覆土として利用する」を「本処分場で再利用する」に表現を改めましたが、寸法については契約後の協議によります。</p>
<p>3 総合評価説明書 Pg. 7/9 5 技術提案等の作成に関する事項 (3) 編集方法 「提出書類等の1項目が複数ページにわたるときは、右肩に番号を振ること」と御座いますが、その際に2ページ以降の書式については、ご提示のタイトルブロック(提案書題目、技術提案を求める事項の内容、備考欄など)は削除して作成してもよろしいでしょうか。</p>	<p>削除は不可とします。</p>
<p>4 発注仕様書 P4 2. (3) 工事期間 工期は、2年7ヶ月程度と想定されますが、各年度毎の出来高(金額等)が決まっていたらご教授ください。</p>	<p>各年度の出来高金額は、契約後の協議事項であるため、現時点では回答はできません。</p>
<p>5 発注仕様書 P5 4. 公害防止基準 本仕様書に明示した計画基準とは、(1)排水基準値～(4)悪臭基準値及び P20 1. 関係法令等の遵守と判断してよろしいでしょうか</p>	<p>よろしいです。</p>
<p>6 発注仕様書 P7 (2) 騒音基準値 敷地境界線を図面表記でご教授下さい。</p>	<p>添付資料 10 の一点鎖線が敷地境界線です。</p>
<p>7 発注仕様書 P8 5. 表 7 計画埋立処分廃棄物が、焼却灰等とありますが、焼却灰の成分をご教授ください。また、焼却灰以外に入る廃棄物の計画がありましたら、その種類と量等をご教授ください。(例 不燃物等) 同上、覆土とありますが使用予定の覆土の性状をご教授ください。(例 工事中の発生土、碎石等)</p>	<p>焼却灰の成分については、仙台市ホームページの「平成 25 年度検査年報」を参照してください。 焼却灰以外の廃棄物は、不燃物または不燃性のごみ(ガラス類、陶器・石類、金属類)です。 覆土は、処分場内の山砂等です。</p>
<p>8 発注仕様書 P10 7. (4) 敷地周辺設備 4) 「場内排水溝にて集水し、最寄りの雨水排水路へ排水する」とありますが、最寄りの雨水排水路とは P65 の 2. (3) に記載の既設雨水側溝と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>既設雨水排水溝、または場内整備工事で敷地の南側の法面との境界に設置する雨水排水溝(添付資料 1 参照)に、適切に設計し接続してください。</p>

9	<p>発注仕様書 P14 (6)経費分担 「汚泥等は処分場内に搬出する」とありますが、運搬車両、車両運転手、車両燃料、汚泥搬入料金は貴市負担と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>処理料金は発生しません。但し、その他に運搬費等については受注者の負担とします。</p>
10	<p>発注仕様書 P14 (6)経費分担 貴市負担のユーティリティー料金に、下水道放流料金が含まれると判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
11	<p>発注仕様書 P16 第 5 節 (3)3)引渡し性能試験は石積埋立処分場第 1 期の浸出水により実施することと記載されてありますが、1 期の原水水質は P24 表 8 の計画流入水質と同等と考えてよろしいでしょうか。また、下水道への放流の切り替えは、工期中の性能試験実施期間中に行うと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>原水水質については、仙台市ホームページの「平成 25 年度検査年報」を参照してください。下水道への放流切り替えは、そのとおりです。</p>
12	<p>発注仕様書 P21 3. 施工(1) 一般事項 1) 工事基準面は現地盤高とありますが、添付資料 1(北東角 EL65.38m)の地盤高さ判断してよろしいでしょうか</p>	<p>よろしいです。</p>
13	<p>発注仕様書 P22 (3)仮設工事 1) 監督員詰所として、何名分の面積を確保すればよろしいでしょうか。</p>	<p>監督員詰所は不要とします。</p>
14	<p>発注仕様書 P24 第 2 節 表 8 計画流入水質 表 8 に記載がない水質項目は、下水道排除基準以下と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
15	<p>発注仕様書 P24 第 2 節 表 8 計画流入水質 T-N 250mg/L の構成をご教授ください。(T-N=NH₃-N+NO_x-N+Org-N) 主成分は、NH₃-N(アンモニア性窒素)と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
16	<p>発注仕様書 P26 1. 歩廊、階段、点検台、手摺 (1)1)設計基準の通路幅 主要部 1000mm 以上、 (2)6)主要通路・・・幅 1.2m の表現相異について、ご教授ください。</p>	<p>(2)6)の「及び」は、「かつ」に読み替えてください。</p>
17	<p>発注仕様書 P31 第 1 節 1. 取水ポンプ 浸出水集水ピット内面防食被覆の施工範囲は、浸出水集水ピット、地下水ピット、沈砂ピットとし、その塗布範囲はピット床、壁、天井と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
18	<p>発注仕様書 P31 第 1 節 1. 取水ポンプ 浸出水集水ピット内の内面防食被覆は本工事にて施工とありますが、内面表面の仕上仕様をご教授ください。</p>	<p>クラック補修は別途工事で行いますが、防食被覆に必要な不陸調整は本工事とします。</p>

19	<p>発注仕様書 P32 第1節 5. 浸出水調整槽付帯設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タラップの設置場所は、添付資料 8 のマンホールの設置場所の 6 ヶ所と考えてよろしいでしょうか。また、タラップの材質について指定がありましたらご教授ください。 ・調整槽内の防食塗装範囲は、水槽床、壁、天井と考えてよろしいでしょうか。 	<p>タラップ設置場所は、そのとおりです。</p> <p>調整槽内の防食塗装範囲は、柱も加わります。</p>
20	<p>発注仕様書 P32 第1節 5. 浸出水調整槽付帯設備</p> <p>浸出水調整槽の内面表面の仕上仕様をご教授ください。</p>	<p>クラック補修は別途工事で行いますが、防食被覆に必要な不陸調整は本工事とします。</p>
21	<p>発注仕様書 P45 第5節 5. 汚泥貯留槽攪拌装置と 6. 汚泥貯留槽攪拌ブロワの記載がありますが、汚泥貯留槽の攪拌はブロワによる空気攪拌と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>汚泥貯留槽攪拌装置と汚泥貯留槽攪拌ブロワの併用を基本とします。</p>
22	<p>注仕様書 P48 第6節 3. 苛性ソーダ貯槽(6)濃度 48%と記載されておりますが、既設同様 24%へ希釈して使用すると判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
23	<p>発注仕様書 P48 第6節 5. 凝集剤貯槽(6) 付属品に溶解用攪拌機と記載されておりますが、使用濃度は 38%をそのまま使用で攪拌機は不要と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
24	<p>発注仕様書 P50 第6節 13. メタノール貯槽(1)形式に自動溶解装置と記載されておりますが、使用濃度は 50%をそのまま使用で自動溶解装置は不要と判断してよろしいですか。</p>	<p>よろしいです。</p>
25	<p>発注仕様書 P51 2. 井水貯留槽 第1井戸の制御盤位置をご教授ください。</p>	<p>第2処理施設西側（メタノール室・北側）に位置します。</p>
26	<p>発注仕様書 P51 2. 井用水給水ユニット</p> <p>処理水槽、洗浄用水槽への補給とありますが、本設備は薬品溶解に使用するものであり、処理水の希釈は、5. 処理水希釈用水ポンプで行うと判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
27	<p>発注仕様書 P53 1. 放流管圧送ポンプ</p> <p>(8)放流管端部に手動弁を設置とありますが、第3調整槽及び圧送配管が別途工事となっております。</p> <p>手動弁の設置工事は、別途工事と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>手動弁設置は本工事とします。</p>

28	<p>発注仕様書 P53 2. 第 3 調整槽送水ポンプ (7) 流量計 (第 3 調整槽へ流入する排水流量) は、添付資料 3 に記載の第 2 調整槽からの流量を計測する流量計 2 台と判断してよろしいでしょうか。 また、松森工場内の流量計の設置工事は別途工事と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>流量計は 2 台です。 松森工場内の設置工事は本工事です。</p>
29	<p>発注仕様書 P53 2. 第 3 調整槽送水ポンプ (8) 松森工場内の電源引き込み位置をご教授ください、また供給可能な電圧は 200V と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>電源引き込み位置は、汚水槽 (2) 付近で、電圧は 200V です。</p>
30	<p>発注仕様書 P55 第 3 節 既設の浸出水第 2 処理施設の原水槽から浸出水調整槽まで配管を敷設し、第 1 期の浸出水を融通できるようにすることとありますが、ポンプは既設を使用し、必要送水量は、150m³/日と考えてよろしいですか。</p>	<p>ポンプは既設使用です。 必要送水量は、200 m³/日です。</p>
31	<p>発注仕様書 P59 5. その他電気設備工事 (2)②浸出水第 2 処理施設の接触酸化槽散気ブロワの電気容量、稼働台数をご教示ください。</p>	<p>浸出水第 2 処理施設 接触酸化散気ブロワ 稼働台数 2 台 電気容量 18.5kW</p>
32	<p>発注仕様書 P60 4. 監視システム 今回整備する範囲は、図 2 監視システム概要図の浸出水処理施設内管理室(今回整備)までと判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>新管理棟で監視できるものとする。</p>
33	<p>発注仕様書 P61 図 2 監視システム概要 新管理棟の契約工期をご教示ください。また、工事工程がお判りでしたら、工事工程表をご提示ください。</p>	<p>契約工期は未定です。</p>
34	<p>発注仕様書 P61 図 2 監視システム概要 森郷埋立処分場、延寿埋立処分場は、浸出水処理施設の設備データと判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
35	<p>発注仕様書 P62 第 1 節 3. (3) 掘削は現地盤面から開始するものとし、と記載されておりますが、浸出水処理施設建築工事において、掘削工事が開始可能な時期は、平成 28 年 6 月頃からと考えてよろしいでしょうか。 また、別途工事 (造成工事、浸出水調整槽工事等) の計画工程表がありましたらご支給願います。</p>	<p>場内整備工事も契約前であり、着工時期は未定ですので、双方工事の契約後に調整していただきます。 計画工程表は提示できません。</p>
36	<p>発注仕様書 P63 (2) 構造及び外部仕上 2) 地下構造物は別途レベル 2 地震動による照査を実施することとありますが、前回 2 月の見積依頼の質疑回答の通り、本施設の地下構造物は、建築基準と判断してよろしいですか。</p>	<p>よろしいです。</p>
37	<p>発注仕様書 P63 (3) 各室配置 既設の浄化槽とありますが、位置、流入管の口径・埋設深さをご教授ください。</p>	<p>既設浄化槽の位置は、既設受変電設備の南東側直近です。流入管は口径 100A, 埋設深さ GL-740mm です。</p>

38	<p>発注仕様書 P64 3) 水槽内部仕上げ(防食工事) 防食被覆は原則 C 種と記載されておりますが、第 4 章でコンクリート水槽の内面防食被覆と明記されている水槽は全て、C 種と判断してよろしいでしょうか。</p> <p>又は、水槽内部仕上げは、水質、腐食環境に適応する防水、防食を施工すると記載されている通り、水質により防水と防食を使い分けてもよろしいでしょうか。(原水を防食、処理水を防水等)</p> <p>また、塗装範囲は水槽床、壁、天井と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>コンクリート水槽の防食被覆は、全て C 種以上とします。</p> <p>原水系および処理水系は防食とし、井水系は防水を基本とします。</p>
39	<p>発注仕様書 浸出水処理施設建物周囲の舗装工事、排水管工事、門囲障工事は別工事で判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>外構工事は別途工事です。</p>
40	<p>発注仕様書 P66 1. 屋内機械設備撤去 (3) 有価物(金属類)の売却は工事請負者が行うこととし、処分方法は自由処分と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>自由処分です。</p>
41	<p>発注仕様書 P66 2. 水槽の閉塞 「残汚水は浸出水調整槽に排出する」とありますが、既設浸出水調整槽と判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
42	<p>発注仕様書 P66 第 2 節 既設倉庫解体撤去 倉庫を解体する時期に制約はありますか。</p>	<p>場内整備工事との調整が必要です。</p>
43	<p>発注仕様書 P66 第 2 節 既設倉庫解体撤去 倉庫に保管中の有用物がある場合、その移動は貴市にて実施されると判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
44	<p>発注仕様書 P66 第 2 節 既設倉庫解体撤去 撤去不要の基礎部分は、コンクリート構造物全てと判断してよろしいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
45	<p>発注仕様書 P68 2. 床排水ポンプ 「床排水等を調整槽まで」と記載がありますが、添付資料 6 の雑排水と同じく、原水槽に入れてよろしいでしょうか。</p>	<p>調整槽とします。</p>
46	<p>添付資料 1 調整槽スラブに配管貫通が必要な場合、箱穴等は土木工事範囲と判断してよろしいですか。</p>	<p>調整の上、別途工事とします。</p>
47	<p>添付資料 1 集水ピットから浸出水調整槽までの配管は、現場状況に応じてルート変更は可能でしょうか。</p>	<p>可能です。</p>

48	添付資料 1 集水ピットに材料搬入車を横付けすることは可能でしょうか。	可能です。
49	添付資料 5-1 (仮) 第 3 調整槽スラブに配管貫通が必要な場合、箱穴等は土木工事範囲と判断してよろしいですか。	調整の上、別途工事とします。
50	添付資料 5-1 汚水槽～第 3 調整槽への送水管は、(仮) 既設排水ライン(青線)を一部使用することと判断してよろしいですか。 使用する場合、(仮) 既設排水ライン(青線)の管種、口径、埋設深さをご教授ください。	既設排水ラインの一部使用を可とします。 既設管は、NS 型铸铁管・口径 150A・埋設深さは GL-約 1 m です。
51	添付資料 5-1 (仮) 新設排水ライン(赤線)の埋設ルートに地中障害物がないと判断してよろしいでしょうか。	設計時において地下埋設物等の調査を必要とします。
52	添付資料 7 集水ピットのスラブ等に配管貫通が必要な場合、箱穴等は土木工事範囲と判断してよろしいですか。	調整の上、別途工事とします。
53	前回、平成 27 年 2 月の御見積依頼時の質疑回答書は有効と判断してよろしいですか。	本件の公告内容及び質疑回答のみを有効とします。

注 1 この質疑応答書は、設計図書等に対して質問がある場合(見積に必要な事項に限る。)にのみ提出して下さい。会社名を記入する必要はありません。